

部活動について検討の視点とこれまでの協議

R3.6.3 第 15 回下田市立学校統合準備委員会 資料

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 概要 (文部科学省) より引用

【部活動の意義と課題】

- ✓部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会や、多様な生徒が活躍できる場である。
- ✓一方、これまで部活動は教師による献身的な勤務の下で成り立ってきたが、休日を含め、長時間勤務の要因であることや、指導経験のない教師にとって多大な負担であるとともに、生徒にとっては望ましい指導を受けられない場合が生じる。
- ✓中教審答申や給特法の国会審議において「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」旨が指摘されている。

持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要

【改革の方向性】

- ◆部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務であることを踏まえ、部活動改革の第一歩として、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築
- ◆部活動の指導を希望する教師は、引き続き休日に指導を行うことができる仕組みを構築
- ◆生徒の活動機会を確保するため、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備

【具体的な方策】

- I. 休日の部活動の段階的な地域以降 (令和 5 年度以降、段階的に実施)
- ・休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保  
(育成・マッチングまでの民間人材の活用の仕組みの構築、兼職兼業の仕組みの活用)
  - ・保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援
  - ・拠点校(地域)における実践研究の推進とその成果の全国展開

【部活動指導員の制度化について】 (スポーツ庁) より引用

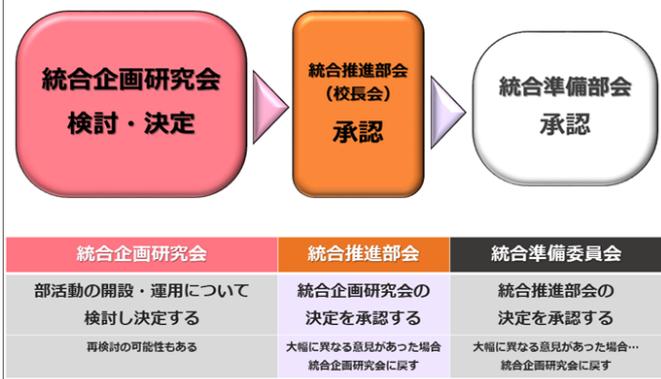
【部活動指導員制度】学校教育法施行規則 H29. 4. 1 施行

校長の監督を受け、部活動の技術指導や大会への引率等を行うことを職務とする「部活動指導員」

【背景】運動部活動については、顧問のうち、保健体育以外の教員で担当している部活動の競技経験がない者が中学校で約 46%、高等学校で約 41%となっている。

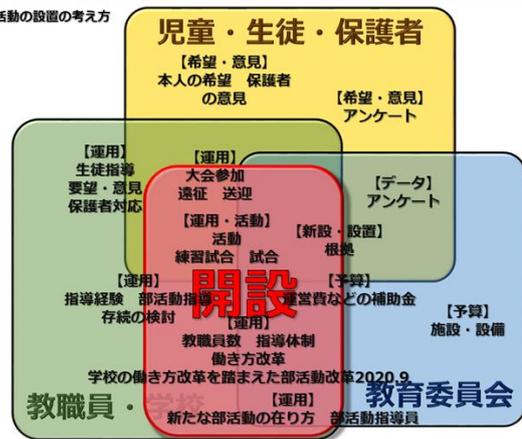
日本の中学校教員の勤務時間は参加国・地域中 (OECD)、最長となっている。

部活動の選定プロセス



【部活動の決定プロセス】

部活動の設置の考え方



【部活動設置の考え方】

**【組織】**

下田市立学校総合準備委員会  
 統合推進部会（市校長会）  
 統合企画研究会  
 賀茂地区中体連  
 県・東部地区中体連理事会  
 市内体育科研修会  
 生徒指導部会  
 各中学校など  
 部活動運用プロジェクト会議(21.3.22～)  
 事務局内協議

**【教職員の情報共有】**

公務支援システムを活用



**【新中学校開校準備のための組織図（内部）】**

**【協議内容】**

- ・部活動選定プロセス、選定タイムスケジュール
- ・アンケート作成、実施、集計、分析
- ・国内の事例調査・研究
- ・中体連、各種大会等の出場資格について協議
- ・新設部活動の設置について協議
- ・部活動の運用について協議

**【その他】**

- ・県・東部・賀茂地区中体連との協議
- ・各種大会主催団体への相談
- ・施設やスポーツ団体への相談
- ・国内、県内の事例調査・分析
- ・先行事例校への相談

**【協議の経緯】**：下田市立学校総合準備委員会、統合企画研究会 23 回（1 回あたり 4 時間程度）、アンケート調査など  
 その他（県・東部・賀茂地区中体連、体育科研修会、生徒指導部会、各中学校、事務局協議など）

**H31. 3. 12 第 5 回下田市立学校総合準備委員会：新中学校の部活動について**

**R 元. 5. 8 第 6 回下田市立学校総合準備委員会：部活動検討スケジュールについて決定**

R 元. 6. 25 第 2 回統合企画研究会

- ・部活動の加入、活動時間、新設する部活動、クラブチームの実態把握について

R 元. 7. 11 第 3 回統合企画研究会

- ・全員加入制か任意加入制か、活動時間、新設する部活動について

R 元. 8. 2 第 4 回統合企画研究会

- ・アンケートを活用した選定プロセス、アンケートの扱いについて検討
- ・アンケート作成（実施時期、回数、対象、内容、選定スケジュール）について検討

R 元. 8. 29 第 5 回統合企画研究会

- ・生徒指導部会(8.27)からの報告をもとに検討（新チーム、アンケート、選定スケジュールについて）
- ・R4 年度 4 月の 1～3 年生の部活動の選択・加入について
- ・新チーム（R4 年度 3 年生）の中体連などの大会出場について
- ・アンケート 3 回（①意識調査 R 元、②希望調査 R2、③希望調査 R3）実施について検討
- ・アンケート案作成（どんな部活があったらいいか意識調査、クラブチームの加入実態把握）

**R 元. 9. 3 第 8 回下田市立学校総合準備委員会：部活動選定プロセスについて、アンケート内容決定**

R 元. 9. 5～9. 12 教職員アンケート実施（第 1 回）

R 元. 9. 17～9. 27 児童・保護者アンケート実施（第 1 回）

**R 元. 10. 9 第 6 回統合企画研究会：以降、アンケート結果を活用しながら新設部活動の協議**

- ・選定スケジュールについて（R2 年 12 月に開設する部活動を決定したい。中体連の運営に関連）。
- ・新設する部活動について検討（以降、部活動指導員制度も含めながら検討）
- ・部活動の運用を考えた活動場所（グラウンド、体育館等）について検討
- ・新チーム（R4 年度 3 年生）の中体連などの大会出場について
- ・R4 年 4 月、全ての学年の生徒が部活動を選択しなおせることとする。
- ・部活動の全員加入制を基本とするが、クラブチームや習い事など、その他の理由により部活動に加入しないことも認めることとする。

**R 元. 11. 26 第 7 回統合企画研究会：新設部活動の協議**

- ・新設する部活動について検討

**R 元. 12. 16 第 8 回統合企画研究会：新設部活動の協議**

- ・統合までの部活動について確認
- ・R4 年 4 月からは、全員加入制を基本とする。ただし、例外を認める。
  - （1）クラブチームに所属する等の理由により部活動に所属しない。
  - （2）クラブチームに所属する等の理由により、部活動の試合には出場しないが、クラブチームの練習が OFF の日には、部活動に参加して体力づくりに参加するなども認める。
- ・部活動の選定スケジュール、教職員への情報共有、中体連・協会等への依頼について
- ・新設する部活動について検討

**R 元. 12. 20 第 9 回下田市立学校統合準備委員会：部活動選定スケジュール、アンケート結果**

**R 元. 12. 20 臨時統合企画研究会**

- ・新設部活動、統合前の部活動について
- ・新入生説明会について
- ・R4 年 4 月の中体連は、各部活 1 チームが基本。

**R2. 1. 30 第 9 回統合企画研究会：新設部活動の協議：運用・安全面、活動、中体連等の大会について**

- ・新設する部活動について検討（以降、立ち上げない部活についても協議）

**R2. 4. 20 第 11 回統合企画研究会：新設部活動の協議：運用・安全面、活動、中体連等の大会について**

- ・新設する部活動について検討

**R2. 5. 18 第 12 回統合企画研究会：新設部活動の協議：運用・安全面、活動、中体連等の大会について**

- ・新設する部活動について検討

**R2. 6. 25 第 13 回統合企画研究会：新設部活動の協議：運用・安全面、活動、中体連等の大会について**

- ・クラブチームの活動の実態把握について
- ・サーフィン、野球、サッカー、陸上、剣道などの費用面の調査、練習、大会の送迎について
- ・希望調査（アンケート）作成について
- ・新設した場合の中体連の運営面の課題等について中体連に相談する内容の整理
- ・新設する部活動について検討 [検討中：サッカー、野球、水泳、サーフィン、剣道、柔道、陸上、文化（パソコン、新聞）]
- ・クラブチーム、下田市振興公社、日本サーフィン連盟など関係団体との協議について

**R2. 7. 20 第 14 回統合企画研究会：新設部活動の協議：運用・安全面、活動、中体連等の大会について**

- ・中体連・協会、関係団体等の調査報告
- ・新設する部活動の検討（以降、立ち上げない部活についても協議・整理）
- ・アンケート案について

**R2. 8. 25 第 15 回統合企画研究会：新設部活動の協議：運用・安全面、活動、中体連等の大会について**

- ・生徒指導部会で検討したことの報告をもとに検討
- ・新設する部活動について検討（候補：サッカー、野球、陸上、水泳、剣道、サーフィン、総合文化）
- ・柔道部は設置しない（指導者の確保、他市町の調査研究、大会・練習試合、授業、安全・運営面等）
- ・剣道部について社会教育団体への調査開始
- ・サッカー、野球、陸上、剣道等、過去に設置されていた際の運営面（練習、指導者、部員数、大会参加）、廃部（運営面の課題、希望・部員数、プロセス）の経緯や課題に関する調査研究について
- ・希望調査（アンケート）作成

**R2. 9. 2 第 12 回下田市立学校統合準備委員会：部活動の検討経過報告（検討中 7、開設断念 14）承認  
：部活動加入希望調査（内容・10 月実施）決定**

**R2. 10. 1～10. 9 新中学校部活動加入希望調査実施（児童・生徒・保護者）（第 2 回）**

**R2. 10. 30 第 16 回統合企画研究会：新設部活動の協議：運用・安全面、活動、中体連等の大会について**

- ・県東部地区中学校部活動開設状況調査報告（開設数、顧問数、運営面・指導面の課題、廃部の検討をしている部活動など）。調査によると、最大でも「学級数＋1」の部活動の開設が妥当である。新下田中学校では、今後の生徒数減少の流れを考慮し、最大でも 13 学級＋1 ⇒14 部活動が妥当。
- ・部活動検討のための視点の整理（概念図確認）  
調査報告、検討の視点をもとに、新設する部活動について検討  
（候補：サッカー、野球、陸上、水泳、剣道、サーフィン、総合文化）
- ・顧問数及び運営面を考慮し、新設する部活動数を 3～5 部活と決定。内 1 部活は文化部を新設する。

**R2. 11. 26 第 17 回統合企画研究会：新設部活動の協議：運用・安全面、活動、中体連等の大会について**

- ・選定のタイムスケジュールについて
- ・新設する部活動について検討（以下、新設は 3～5 部活、内 1 部活は文化部として検討）  
関係団体からの協力、既存の社会団体・クラブチーム・利用可能な近隣施設、移住促進効果等、2022 年度の 3 年生、2 年生、1 年生の希望数等を考慮した新チーム運営、安全面・学校運営（顧問数など）

**R2. 12. 21 第 13 回下田市立学校統合準備委員会：部活動の検討経過報告（検討経過、検討中 7）承認  
：決定時期の延長、部活動加入希望調査結果 承認**

**R2. 12. 14 第 18 回統合企画研究会：新設部活動の協議：運用・安全面、活動、中体連等の大会について**

- ・サーフィン部の設置
  - ▶環境、地域人材、希望数、オリンピック種目、移住促進などの流れ、新しい中学校の目玉の一つとして設置。
  - ▶今後、段階的に地域スポーツに移行していく先行事例。
  - ▶安全面、指導面については、日本サーフィン連盟、マリネット、地元人材などのバックアップを得ながら、部活動指導員制度を活用し、顧問は複数体制で運営する。
  - ▶ボード、ウェットスーツ等はレンタルの払い下げや寄付、シャワー、着替え等は市の施設等を活用。
  - ▶平日の練習は、筋トレ、座学、敷根プールを活用。海での活動は土日のどちらか 1 日を基本とし、現地集合現地解散。
- ・総合文化部の設置
- ・中体連、協会主催の大会出場に関する規約等の情報提供

**R3. 2. 1 第 19 回統合企画研究会：新設部活動の協議：運用・安全面、活動、中体連等の大会について**

- ・R2 年 4 月の中体連出場のチーム数は、基本 1 チーム。
- ・新設する部活動について検討し方向性を整理する  
（サーフィン、サッカー、野球、総合文化部を設置、水泳、剣道、陸上は設置しない方向）

- ・近隣施設を使った社会スポーツ団体や地域の受け皿の有無、他の部活動に所属していても中体連大会などの大会に教職員が引率して出場が可能な大会、スポーツ。
- ・R5 年度以降の地域型スポーツ移行の流れ。部活動指導員制度の活用。
- ・陸上は、トラックやフィールド等複数の種目ごと専門的な指導必要であり、複数の教職員や指導者が顧問として必要になるという運営面の課題。
- ・運動が苦手であったり集団生活に不安を感じる生徒の受け皿としての機能も考慮した文化部を設置

### R3. 2. 22 第 20 回統合企画研究会：14 部活動の開設を決定（既存 10+新設 4）

- ・新設する部活動を 4 つに決定（サーフィン、サッカー、野球、総合文化部）
- ・新設する部活動について検討  
（サーフィン、サッカー、野球、総合文化部を設置、水泳、剣道、陸上は設置しない）
- ・陸上、剣道、水泳は、近隣施設を使った社会スポーツが地域にあり地域に受け皿があること、他の部活動に所属していても、試合日が重なっていなければ中体連大会など 2～3 の大会には出場が可能であり、教職員が引率している現状があることなどから部活動としては新設しない。
- ・また、R5 年度以降、部活動を地域型スポーツへ移行する流れもあり、その先行的な事例として活動主体を地域にお願いできるものについて検討。
- ・さらに、陸上については、トラックやフィールドなど複数の種目があり、それぞれに専門性や、指導のための複数の教職員・指導者が必要になるなど、運営面の課題。
- ・運動が苦手であったり集団生活に不安を感じる生徒の受け皿としての機能も考慮し、パソコンだけに絞らず、生徒のやりたいことに応じて活動やテーマを決められるような「幅」を持たせた「総合文化部」を設置し、「パソコンやカメラなどを活用し、自然、環境、観光、地域をテーマに活動する」ことを活動内容とする。
- ・部活動運用プロジェクトチームを発足し、部活動運用規定（運営・約束・廃部の検討タイミング）と、部活動懇談会資料（費用、年間の大会、新設する部活の練習イメージなど）を作成する。

### R3. 3. 16 第 14 回下田市立学校統合準備委員会：新設する部活動について⇒決定は次回に持ち越し

委員の意見：決定までの資料、個人種目設置の要望など

#### R3. 3. 24 第 21 回統合企画研究会

- ・新設する部活動について
- ・活動時間と下校バス（路線バス・スクールバス）の時刻について検討

#### R3. 4. 12 第 22 回統合企画研究会

- ・地域型スポーツ（クラブチーム）の今後の見通しについて確認（窓口は教頭、指導には一切関与しない、活動時間は部活と同様とする）。
- ・陸上（水泳、剣道）は、これまで同様、中体連や駅伝等の 2～3 の大会に教職員が引率できることを確認。今後、教職員が引率できる大会と、保護者が引率する大会を整理しておくことが必要。

#### R3. 5. 10 第 23 回統合企画研究会

- ・部活動に関する文言について検討（地域部活動開設の動きを受けて、部活動と同等扱いの表記を工夫）
- ・部活動について確認、クラブチーム立ち上げと検討経過などの報告

#### R3. 5. 24 4 中校長、教頭、教務、事務局会議

- ・部活動に関する文言について検討【放課後や休日の生活について】  
「新下田中学校では、放課後や休日の過ごし方として、学校が開設する部活動、地域などが開設する地域部活動やクラブチーム、もしくは習い事など、自分が興味を持ち熱中できる活動に参加し、充実した生活を送ることを推奨する。」

## 新中学校の部活動について整理

### 【放課後や休日の生活について】

「新下田中学校では、放課後や休日の過ごし方として、学校が開設する部活動、地域などが開設する地域部活動やクラブチーム、もしくは習い事など、自分が興味を持ち熱中できる活動に参加し、充実した生活を送ることを推奨する。」

### 【新中学校の設置部活動】

・新下田中学校では14部活動を設置する。

男女バレーボール部、男女バスケットボール部、男女ソフトテニス部、男女卓球部、吹奏楽部、美術部、サッカー部、軟式野球部、サーフィン部、総合文化部

※部活動の運用方法などの詳細は今後決定する。

部活動運用プロジェクト会議(R3.3.22～)、統合企画研究会、統合推進部会

### 【サーフィン部】

- ・環境、地域人材の数、希望数、オリンピック種目、移住促進など昨今の流れを考慮し、新しい中学校の目玉の一つとして設置。今後、段階的に地域スポーツに移行。
- ・安全面、指導面については、日本サーフィン連盟、マリネット、地元人材などのバックアップを得ながら、部活動指導員制度を活用し、顧問は複数体制で運営する。
- ・ボード、ウェットスーツ等は中古・寄付などを募り、シャワー、着替え等は市の施設等を活用。
- ・平日の練習は、筋トレ、座学、敷根プールを基本とする。海での活動は土日のどちらか1日を基本とし、現地集合現地解散とする。

### 【サッカー部】

- ・希望数、移動、費用等を考え、部活動を開設する。

### 【野球部】

- ・希望数、移動、費用等、「軟式野球」の受け皿がないため部活動を開設する。

### 【総合文化部】

- ・運動が苦手であったり集団生活に不安を感じる生徒の受け皿としての機能も考慮し、パソコンだけに絞らず生徒のやりたいことに応じて活動やテーマを決められるような「幅」を持たせた「総合文化部」を設置。
- ・パソコンやカメラなどを活用し、自然、環境、観光、地域をテーマに活動する部活動。

### 【陸上部、水泳部、剣道部の立ち上げを断念した理由と地域のクラブチーム立ち上げの動き】

- ・陸上、水泳、剣道は、近隣施設を使用した地域スポーツ団体等の受け皿があり（または、拡大が見込まれるため）、今後、部活動が地域型スポーツへ移行していく流れも考慮すると部活動としては設置しない。また、新中学校では、部活動のかわりにこれらクラブチームに所属することも認める。
- ・陸上競技については、様々な種目があり安全面を考慮すると複数の指導者（種目ごとに指導者）が必要となり、教職員の人数が対応できない。
- ・陸上については、令和4年度から、短・中・長距離に限定した「競走部（クラブチーム）」の立ち上げが検討されており、活動時間は新下田中学校の部活動と同様に実施予定(2021.5現時点)。
- ・剣道については、指導者の確保や運営面などの問題について協議されており、令和4年度以降の準備が整い次第、クラブチームとして立ち上がる可能性がある。
- ・水泳については、クラブチームを請け負う団体、指導者、活動場所など、具体的な見通しは立っていない。
- ・陸上、水泳、剣道は、他の部活に所属している場合でも、中体連等の大会に出場（現時点でも、教職員が引率して大会に出場）が可能である。